

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点								
15点	(1)	①	処理			6	5								
	(2)	②	処理			2 3 4	5								
	(3)	③	処理			2 0	5								
10点	(1)	④	知識			○下のようなことを書いている。 (例1) 1を2こ, 0.01を4こ集めた数 (例2) 2と0.04をあわせた数 (例3) 204を $\frac{1}{100}$ 倍した数 (例4) 2より0.04大きい数	5								
	(2)	⑤	知識			(2) m (4) cm	5								
10点	(1)	⑥	処理	○右のうち, 1つ正答している。	2	○3つとも正答している。 <table><tr><td>年度</td><td>平成18年度</td><td>平成19年度</td><td>平成20年度</td></tr><tr><td>学校数(校)</td><td>7800</td><td>8100</td><td>9000</td></tr></table>	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	学校数(校)	7800	8100	9000	5
				年度	平成18年度		平成19年度	平成20年度							
	学校数(校)	7800	8100	9000											
○右のうち, 2つ正答している。	3														
(2)	⑦	考え	○500円で(買える)のみ合っている。	1	500円で(買える)	5									
○198+95+186を計算すると479(円)になるから500円で買える。	2	(説明例) 食パンを200円, あんパンを100円, クリームパンを200円と多く見積もり, その和が500円なので, 実際は500円をこえない。など													
10点	(1)	⑧	処理	$25 \times 28 = 25 \times (2 \times 14)$ $= (25 \times 2) \times 14$ $= 50 \times 14$ $= 700$	3	$25 \times 28 = 25 \times (4 \times 7)$ $= (25 \times 4) \times 7$ $= 100 \times 7$ $= 700$	5								
	(2)	⑨	処理	○計算の仕方が説明できている。 (例) 28は 2×14 になります。 はじめに, 25×2 を計算して50になります。 この50に14をかけるとよいので, 答えは700となります。など	3	○簡単な計算の仕方が説明できている。 (例) 28は 4×7 になります。 はじめに, 25×4 を計算して100になります。 この100に7をかけるとよいので, 答えは700となります。など	5								
5点		⑩	関心	○1つ正しくかいている。	2	○全て正しくかいている。	5								
				○2つ正しくかいている。	3										
				○3つ正しくかいている。	4										
10点	(1)	⑪	知識	○辺の長さや角の大きさの数値が違うが, 必要な部分を選んで測っている。 1°~2°や1~2 mmの誤差は可。	3	○次のどれかを書いていて, 数値が正しい。 ・(辺AB)と(辺BC)と(辺AC) ・(辺AB)と(辺AC)と(角A) ・(辺AB)と(辺BC)と(角B) ・(辺AC)と(辺BC)と(角C) ・(辺AB)と(角A)と(角B) ・(辺BC)と(角B)と(角C) ・(辺AC)と(角A)と(角C) 1°~2°や1~2 mmの誤差は可。 これ以外の辺や角が書かれていても可。	5								
				(2)	⑫			知識	○名前のみを書いている。 ○図形のみを作っている。	1	○三角形4つで二等辺三角形を作っている。				
				○図形にずれはあるが, 名前と一致している。	3										
				○三角形2つで平行四辺形(またはひし形)を作っている。											
				○三角形3つで台形を作っている。											

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点												
7	15点	⑬	知識	○（人数）あたりの（面積）で比べる。 ○（面積）あたりの（人数）で比べる。	3	○（1 m^2 ）あたりの（人数）で比べる。 ○（1 人）あたりの（面積）で比べる。	5												
				○小ルームの方がこんでいると書いているが，説明が書いていない。	1	○1 m^2 あたりの人数で比べている。 （面積をそろえ，人数で比べている。） （例） $5 \div 12 = 0.416 \dots$ $24 \div 60 = 0.4$ 1 m^2 あたりの人数は，小ルームの方が多 いので，小ルームの方がこんでいる。 など ○1 人あたりの面積で比べている。 （人数をそろえ，面積で比べている。） （例） $12 \div 5 = 2.4$ $60 \div 24 = 2.5$ 1 人あたりの面積は，小ルームの方がせ まいので，小ルームの方がこんでいる。 など	5												
				○小ルームの方がこんでいると書いているが，説明が不十分である。	2														
				○大ルームの方がこんでいると書いているが，単位量あたりの考えを用いた式を書いている。	2														
○大ルームの方がこんでいると書いているが，12と60の公倍数で面積を，または5と24の公倍数で人数をそろえて比較している。 など	2																		
8	10点	⑭	処理	○6 人のみ合っている。	2	○1 人あたりの面積で考えている。 小ルームのこみぐあいは， $5 + 1 = 6$ $12 \div 6 = 2$ 1 人あたり 2 m^2 の面積ということになる。 大ルームのこみぐあいを 1 人あたり 2 m^2 にするには， $60 m^2 \div \square \text{人} = 2 m^2$ $\square = 30 \text{人}$ 今，大ルームには 24 人いるので $30 - 24 = 6$ 大ルームに 6 人入れば，同じこみぐあいになる。 ○数直線を使って考えている。 <div><div><div>12 $m^2 \times 5$</div><div>60 m^2</div></div><div><div>6 人 $\times 5$</div><div>\square</div></div><div>$6 \times 5 = 30$ $30 - 24 = 6$ 大ルームに 6 人入れば，同じこみぐあいになる。 など</div></div>	5												
				○大ルームにいる人数を求める途中で終わっているが，小ルームと大ルームの 2 つのこみぐあいを同じにしようという考えを言葉や式で表そうとしている。	2														
				○計算間違いにより，答えは間違っているが，右のような考え方で求めている。	3														
				○1 m^2 あたりの人数で考えている。 小ルームのこみぐあいは， $5 + 1 = 6$ $6 \div 12 = 0.5$ 1 m^2 あたり 0.5 人ということになる。 大ルームのこみぐあいを 1 m^2 あたり 0.5 人にするには， $0.5 \text{人} \times 60 m^2 = 30 \text{人}$ 今，大ルームには 24 人いるので $30 - 24 = 6$ 大ルームに 6 人入れば，同じこみぐあいになる。															
【授業改善の視点】異種の二つの量の割合の意味とその求め方を理解させるとともに，単位量あたりの大きさの考えを用いて，こみぐあいや速さなどについて説明し合う活動を工夫する。																			
9	15点	⑮	考え	○6 人のみ合っている。	2	○1 人あたりの面積で考えている。 小ルームのこみぐあいは， $5 + 1 = 6$ $12 \div 6 = 2$ 1 人あたり 2 m^2 の面積ということになる。 大ルームのこみぐあいを 1 人あたり 2 m^2 にするには， $60 m^2 \div \square \text{人} = 2 m^2$ $\square = 30 \text{人}$ 今，大ルームには 24 人いるので $30 - 24 = 6$ 大ルームに 6 人入れば，同じこみぐあいになる。 ○数直線を使って考えている。 <div><div><div>12 $m^2 \times 5$</div><div>60 m^2</div></div><div><div>6 人 $\times 5$</div><div>\square</div></div><div>$6 \times 5 = 30$ $30 - 24 = 6$ 大ルームに 6 人入れば，同じこみぐあいになる。 など</div></div>	5												
				○大ルームにいる人数を求める途中で終わっているが，小ルームと大ルームの 2 つのこみぐあいを同じにしようという考えを言葉や式で表そうとしている。	2														
				○計算間違いにより，答えは間違っているが，右のような考え方で求めている。	3														
【授業改善の視点】異種の二つの量の割合の意味とその求め方を理解させるとともに，単位量あたりの大きさの考えを用いて，こみぐあいや速さなどについて説明し合う活動を工夫する。																			
8	10点	⑯	関心	○面積は 320 cm^2 ではないが，複合図形でわくを囲んでいる。	1	○面積が 320 cm^2 の図形をかいている。 （図は省略）	5												
				○図に適切な線のみひいている。	1	○複合図形を求める図，式，答えを正しくかいている。 （式） $3 \times 3 \times 5$ $3 \times 3 \times 4 + 3 \times 3$ $3 \times 9 + 3 \times 3 \times 2$ $9 \times 9 - 3 \times 3 \times 4$ など （図は省略） （答え）45 cm^2	5												
				○式のみ正しく書いている。	2														
9	15点	⑰	考え	○答えのみ合っている。	2	○下の表の通り，3 つとも正答している。 <table><tr><td>たなの横の長さ</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>針金の本数</td><td>6</td><td>9</td><td>12</td><td>15</td><td>18</td></tr></table>	たなの横の長さ	1	2	3	4	5	針金の本数	6	9	12	15	18	5
				たなの横の長さ	1		2	3	4	5									
				針金の本数	6		9	12	15	18									
○図に適切な線のみひいている。	1																		
○式のみ正しく書いている。	2																		
9	15点	⑱	処理	○表中の針金の本数がいずれか 1 つ正答している。	2	○下の表の通り，3 つとも正答している。 <table><tr><td>たなの横の長さ</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>針金の本数</td><td>6</td><td>9</td><td>12</td><td>15</td><td>18</td></tr></table>	たなの横の長さ	1	2	3	4	5	針金の本数	6	9	12	15	18	5
				たなの横の長さ	1		2	3	4	5									
				針金の本数	6		9	12	15	18									
○表中の針金の本数がいずれか 2 つ正答している。	3																		
○答えのみ合っている。	2																		
9	15点	⑲	考え	○言葉の式は間違っているが，24 本であることを計算で求めている。	3	○針金の本数 = 3 + 3 × 「たなの横の長さ」という式を書き，その式を使って正しい答えを求めている。 $3 + 3 \times 7 = 24$ 答え 24 本	5												
				○答えのみ合っている。	2														
				○計算で答えを求めている。	3														
9	15点	⑳	考え	○表の続きを書いて，答えを求めている。	3	○関係を表す式をもとに計算で求めている。 ・ $(30 - 3) \div 3 = 9$ ・ $30 - 3 = 27$ $27 \div 3 = 9$ 答え 9 m	5												
				○答えのみ合っている。	2														
				○計算で答えを求めている。	3														
【授業改善の視点】二つの数量の変化や対応に着目させ，二つの数量の関係を表やグラフや言葉の式に表す活動を工夫するとともに，グラフや式をよむ活動を取り入れる。																			